



きずな

第35回総合開会式



お知らせが遅くなってしまい申し訳ありません。毎年恒例の札幌市サッカースポーツ少年団連盟の総合開会式が4月29日、素晴らしい青空の下、厚別公園競技場で行われました。

札幌地区全121チーム、3600名を越える選手の中から、高学年を中心に1800名近くの選手が参加し、堂々とした行進を見せてくれました。また、スタンドからも多くの保護者やチーム関係者の方が声援を送っていました。



札幌市サッカースポーツ少年団連盟の川口谷 正会長からは、サッカー選手としての心構えについてお話をいただきました。サッカーは最も国際的なスポーツであること、スポーツマンシップ、やフェアプレーを学ぶサッカー少年団の中で、いじめは絶対に起こしてはなら



ないこと、そして、道具を大切に、サッカーで汚したソックスやパンツは、家の人に任せず、自分で洗うべきだということを教えていただきました。

また、昨年度現役を引退され、北海道コンサドーレ札幌リレーションズチームキャプテンとなった河合竜二選手が駆けつけてくれました。ミスをおそれず自分の限界に挑戦すること、コーチや監督など大人の話をも素直に聞き、あいさつのできる選手になること、よきライバルをもつことの大切さなどを教えていただきました。

今年の選手宣誓は、FCリベルタ厚別の川合遥輝君でした。昨年の胆振東部地震から学んだ、仲間とサッカーができる喜びを忘れてはならないこと、ベストサポーターである家族を大切にすること、対戦相手やレフリーなどのサッカーファミリーをリスペクトすることなどを誓い、正々堂々とプレーすることを宣誓してくれました。素晴らしい選手宣誓にスタンドや各チームの指導者、ご来賓の方々からは盛大な拍手と歓声が起こりました。「緊張はするけれど、毎日練習したから大丈夫」と直前に話していた川合君、ここ一番の勝負強さも素晴らしかったですね。





続いてはレクイベントです。各チーム3名のリフティング名人が厚別の芝生に広がりました。スタンドからは、チームメートへの熱い声援が聞こえてきます。1度でもボールを落としたら、そこで敗退。課題は段々と難しくなっていきます。

今年度のお題

- ①フリー (30秒間)
- ②インステップ交互
- ③インサイド交互
- ④アウトサイド
- ⑤もも
- ⑥ヘディング
- ⑦アウトサイド交互



数名に絞られた中でのアウトサイドやヘディングでは、チーム関係なく、素晴らしい技能に対して、歓声や拍手、どよめきが起きました。ハイレベルな戦いを制し、優勝したのは札幌シーガルの高橋拓仁君でした。話を聞いてみると、リフティングの練習は毎日で、数千回から10000回に到達することもあるそうです。毎日の積み重ねが実を結ぶのですね。



続いてはリレーです。400mのトラックを一人100mずつの4人でバトンをつなぎます。U-12リーグ戦の同じブロックに入ったチームで戦います。スピードとチームワークの勝負です。ブロック1位になると、タイムが発表され、全チームの中で最も速いチームが決定します。

優勝したのは八軒サッカースポーツ少年団でした。リーグ戦上位ブロックを上回った記録は58秒60。一人一人の素晴らしい走りに見事なバトンパス。好記録での優勝でした。おめでとう！！



リレー大会ベスト3！

①八軒サッカースポーツ少年団	0' 58" 60
②北海道コンサドーレ札幌U-12	0' 58" 75
③北海道コンサドーレ札幌U-12BLACK	0' 59" 07

開会式終了後のスタンドでは、SSS,コンサドーレ札幌、石狩FCの選手たちが、ごみ拾いをしてくれました。とても清々しい光景でした。毎年どうもありがとう！



こうして開会式は終了しました。選手の皆さん、川合君の選手宣誓の通り、会場にいる全ての人の笑顔を生むような素晴らしいプレーをどの大会でも見せてくださいね。